



ジップロック® リサイクルプログラム



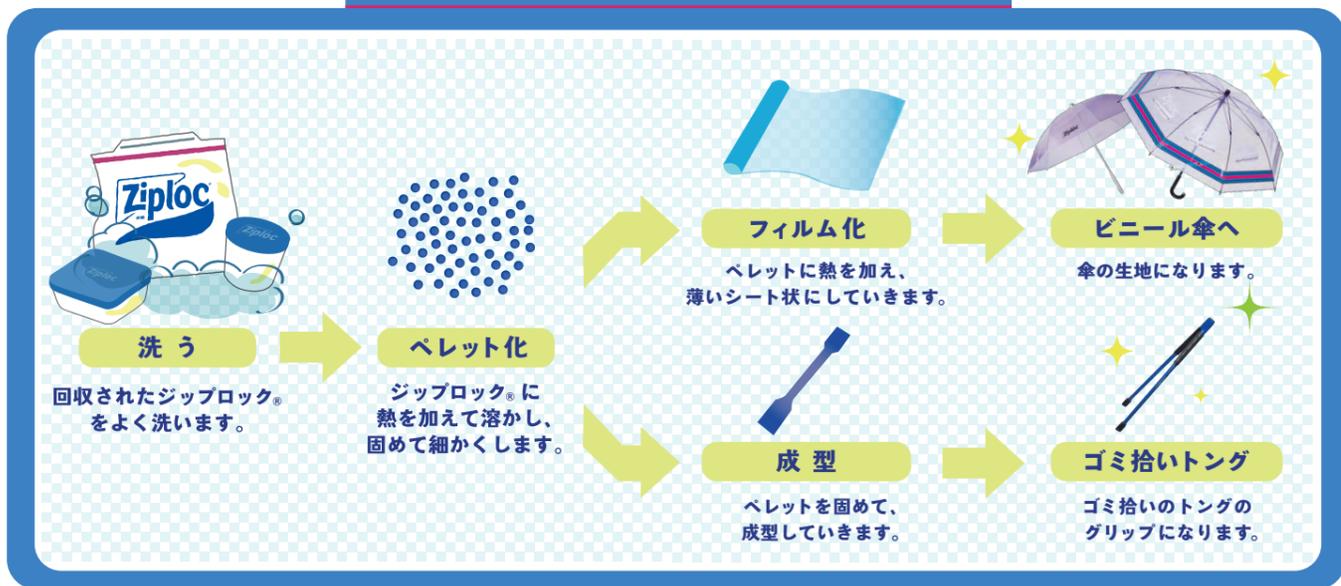
ジップロック®リサイクルプログラムとは？



「ジップロック®リサイクルプログラム」は、使い終わったジップロック®を集めて別のプラスチック製品につくり替え、廃プラスチック問題の解決に貢献する活動です。多くのお客様にご支持をいただいているジップロック®を扱う私たちだからこそ、できることがあると考え、このプログラムをスタートさせました。ジップロック®を使っていただきながら、「持続可能な社会」や「循環型社会」について楽しみながら考えるきっかけをご提供できればと思っています。



ジップロック®のリサイクル工程



回収できるジップロック®一覧

- 【ジッパー付きバッグのジップロック®】
- ・フリーザーバッグ
 - ・お手軽バッグ
 - ・イージージッパー®
 - ・ストックバッグ
 - ・ストレージバッグ
 - ・マチ付き イージージッパー®

【プラスチック保存容器タイプのジップロック®】

- ・コンテナ
- ・スクリュロック®



循環型社会の体験へ ジップロック®をリサイクル これまでの活動紹介

回収した使用済みのジップロック®をリサイクルして別の製品に作り替えるだけでなく、これらを街中の傘シェアサービスや、清掃活動などのイベントで活用してもらうことで、誰もが未来づくりに気軽に参画できる場の提供と、持続可能な環境・社会の実現を目指しています。

体験を通じて
循環型社会を考える

ジップロック®が生まれ変わった傘を使う

使い終わったジップロック®を回収する

ジップロック®を使う

ジップロック®リサイクルプログラムのこれまでの取り組み

傘 2022年7月：『Ziploc RECYCLE PROGRAM』始動

ジップロック®バッグをリサイクルした「ジップロック®リサイクル傘」を製作。ジップロック®・テラサイクル・アイカサ・BEAMS COUTUREの4者協働で、ジップロック®をリサイクルした傘のシェアリングサービスを運用開始。この時に製作されたジップロック®リサイクル傘は、デザイン賞 (Monocle Design Awards 2021) を受賞しました。



トンガ 2022年8月：『Ziploc RECYCLE PROGRAM』第二弾

ジップロック®コンテナをリサイクルした「ゴミ拾いトンガ」を製作。使用済みジップロック®コンテナのリサイクル素材をゴミ拾いトンガのグリップ部分に採用。ディズニーデザインを施した「魔法のジップロック®トンガ」を数量限定で製作し、海洋ゴミ問題に向き合う海浜清掃SDGsゲームイベントを開催しました。



トンガ 2022年10月：女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」との清掃活動

22年10月からスタジアム周辺やホームタウンを、ジップロック®のゴミ拾いトンガを使って選手や地域の方と一緒に綺麗にする清掃活動を実施。これまでに、東京、神奈川、埼玉、神戸、広島など全国各地、様々な場所で選手たちも参加した活動を行っております。



©INAC KOBE LEONESSA

傘 2023年8月：『Ziploc RECYCLE PROGRAM』第三弾

ジップロック®バッグをリサイクルした「手作り傘キット」を製作。金属を一切使っていない分解できる傘の仕組みを活用した傘の手作りキットを展開するサエラと協働し、ジップロック®のリサイクル素材を傘生地を使用した傘の手作りキット「SORAKASA KIT」を製作しました。世界に一つだけのサステナブルなオリジナル傘を作るワークショップを自治体や教育機関を中心に開催しております。



ジップロック® リサイクルプログラムの参加方法



※使用済みのジップロック®は、2kgから回収が可能です。参考：フリーザーバッグ1枚あたり＝5～10g スクリューロック®1個あたり＝40～50g
※集荷したジップロック®は、一定量が集まるまで数ヶ月倉庫に保管されます。保管中の衛生管理のためにも、ジップロック®の汚れを完全に落としてから集荷依頼をしていただきますよう、お願いします。

アカウントの登録はこちら

https://www.terracycle.com/ja-JP/account/sign_up



回収依頼はこちら

<https://www.terracycle.com/ja-JP/brigades/ziploc>



広がるプログラムの輪

現在、教育機関を中心に「ジップロック®リサイクルプログラム」への参加が増えています。学校や学童に設置された回収ボックスに使い終わったジップロック®が続々と集まり、沢山の傘に生まれ変わりました。ある学童では、ジップロック®を回収ボックスに1つ入れるたびにシールをべたり。多くの子どもが傘に生まれ変わるのを楽しみにしながら、リサイクルを理解し、この体験を通して循環型社会に取り組む大切さを学んでいます。

旭化成ホームプロダクツ サステナブル方針

あたりまえのまいにちを、この先も、ずっと。

私たちは今、SDGsに表される社会課題の解決に取り組んでいます。未来の子どもたちが笑顔で暮らせる、あたりまえのまいにちを守るため、食料資源の有効活用や、男女共同参画社会の実現、エネルギー問題や気候変動への対策など、7つの取り組みを進めています。



豊かな食生活と健康的な暮らしをかなえるアイデア



日用品を活用した災害への対応



食料問題への取り組み



家事を通じた男女共同参画社会の実現



廃棄プラスチック削減のための仕組みづくり



資源循環型社会へのに向けた対応



CO2排出抑制による気候変動対策

くわしくはこちら

<https://www.asahi-kasei.co.jp/saran/sustainability/>



プログラムに関する商品のお問い合わせ：

旭化成ホームプロダクツ株式会社 お客様相談室 TEL: 0120-065-402 (土日祝を除く 9:30～17:00) ※相談室のお問い合わせ時間については変更する場合があります。

®は登録商標を示します。2023.12